

# フィジー及び大洋州地域の防災・早期警戒体制強化 協力メニュー（オファー型協力）

令和7（2025）年5月  
外務省国際協力局

## 開発目標：

フィジー及び大洋州地域の防災・早期警戒体制を強化することにより、当該地域全体の災害リスクの削減と災害対処能力を強化し、気候変動や自然災害に対して持続可能かつ強靱な社会の構築を促進する。

## 開発シナリオ：

- （1）フィジーを含む大洋州地域は気候変動に脆弱で災害リスクが高い。国連がCOP27において全世界を早期警戒システムでカバーすると呼びかけ。大洋州地域では、フィジー気象局（FMS）をWMO（第V地区）の地域中核拠点として各国の早期警戒システムを強化することを目指し、太平洋地域環境計画事務局（SPREP）等がWeather Ready Pacific（WRP）を実施している。
- （2）かかる状況を踏まえ、フィジーの防災関連機関（太平洋共同体（SPC）、国家災害管理局（NDMO）、鉱物資源局（MRD）、FMS等）に対する協力により、フィジー及び大洋州地域の防災・早期警戒体制の強化を図り、2024年7月のPALM10で我が国政府が表明した「太平洋気候強靱化イニシアティブ」の実現に貢献する。
- （3）太平洋地域の自然災害情報分析の高度化及び共有体制を強化することで、将来的に我が国を含めた大洋州諸国災害リスク削減につなげる。

## 協力メニュー：

- （1）防災当局の人材育成及び災害復旧のための機材供与や資金担保（技術協力、無償資金協力、円借款等）  
SPCとNDMOに対する技術協力を通じ、フィジー及び大洋州地域の防災能力強化に貢献する。また、緊急支援物資や復旧のための重機等を迅速に運搬するための大型船の供与や、災害対応・復旧に必要な資金ニーズのため、災害復旧スタンドバイ借款を供与し、早期警戒から災害復旧までシームレスに対応できる防災体制を構築する。
- （2）気象業務向上及び災害リスク軽減のための地域拠点整備、機能強化（無償資金協力、技術協力）  
FMSが大洋州地域の気象の中核拠点としての機能（研修、測器校正サービス）を果たせるよう施設整備及び機材供与を行うとともに、気象庁の協力の下、FMSによる各太平洋島嶼国の人材育成・気象観測能力の強化を図る。また、関係機関（SPREP、南太平洋大学（USP）等）とも連携し、地域全体の気象観測・防災能力の向上に貢献する。
- （3）サイクロン等の気象災害に対する防災能力強化（気象庁協力、技術協力等）  
フィジー及び大洋州地域のサイクロン災害等の軽減のため、気象庁がWMOや同志国と連携して、サイクロン等の気象現象の監視に必須である気象衛星「ひまわり」の観測データを地域内の各国気象機関に提供するとともに、データの受信環境の整備、サイクロン等に対する高頻度観測を実施する。また、特に、FMSのサイクロン予報の地域中核拠点機能を強化するため、JICA技術協力プロジェクトとも連携しつつ、FMSのサイクロン予報・解析や高潮・波浪予測の人材育成を行う。
- （4）早期警戒体制の高度化（内閣府協力、技術協力等）  
内閣府の準天頂衛星を活用した災害情報発信をはじめ、我が国関係省庁が有する技術を活用し、フィジー及び大洋州地域の早期警戒体制の高度化に貢献する。

# フィジー・大洋州地域の防災・早期警戒体制強化 協カメニュー（オファー型協カ）

令和7（2025）年5月  
外務省国際協力局

## スケジュール及び資源投入量（想定）：

調査

無償資金協カ

技術協カ

円借款

関係省庁・国際機関等

フィジーを中心とした大洋州地域における防災・早期警戒体制の強化

～2024

2025

2026

2027

2028

事前防災投資、災害リスクの削減

- ・ハザード評価能力
- ・防災計画策定
- ・防災事業実施促進

大洋州広域 防災アドバイザー派遣（SPC、NDMO）

防災の主流化促進プロジェクト

経済社会開発計画：災害対応船供与  
（17.65億円）

災害対処能力の向上

- ・早期警報システム（準天頂衛星活用）
- ・災害対応・復旧

○内閣府による防災・早期警報のための準天頂衛星データ受信機供与、データ活用研修等

災害復旧スタンバイ借款フェーズ2  
（50億円）

気象関連インフラの整備

- ・FMS施設機材整備
- ・地域測器センター
- ・市民への啓発活動
- ・観測精度向上

Weather Ready Pacific (WRP)

（豪・NZが資金拠出）



↑ 地域イニシアティブへの貢献

気象業務向上及び災害リスク軽減のための地域拠点整備

- 技術協カプロジェクト：気象予警報業務の高度化及び大洋州地域中核拠点の整備に係る能力強化プロジェクト
- 関連分野の課題別研修・第三国研修

↑ 連携（我が国技術・ノウハウの活用）

日フィジー協議や同志国・関係機関等との対話を通じ、更なる協カ拡大を検討

防災能力強化

- ・気象衛星活用
- ・サイクロン解析
- ・高潮・波浪予測
- ・測器校正

○気象庁による気象衛星ひまわりのデータ提供、サイクロン予報・解析や高潮・波浪予測、測器校正の人材育成